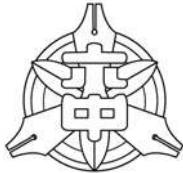


江戸川区立松江第六中学校



学校だより



令和7年12月1日 第8号

江戸川区立松江第六中学校

校長 小野満 賢

面接官は何を見ているのか

校長 小野満 賢

東階段を上がったところの2階フロアに掲げられている「卒業まで残りの登校日数」が70日を切りました。まだ卒業への実感は無いかもしれません、確実に少なくなっていく日数を見て、寂しさを募らせている生徒もいるかもしれません。でも卒業の感傷に浸る前に、まずは進路を決めていかなければならぬことは確かです。

先月末から三年生は高校入試に向けた面接練習を行っています。日頃友だち同士でワイワイ盛り上がるの大好きなこの学年の生徒たちが、自分自身を見つめ、自分が決めた進路の実現に向けて、真剣な眼差しで面接練習に臨む姿や、緊張しながらも自分の言葉で、将来の夢や中学校生活で学んだことを懸命に伝えようとする姿に、大きな成長を感じています。ここから先は、どんなに仲が良くとも、友だちと同じ選択をし、友だちと同じ道を歩むことはできなくなります。そう考えると、いよいよそれぞれが自分の道を歩み始めていると言えるでしょう。

さて、面接官は受験生の何を見ているのでしょうか。もちろん、頭髪や服装などの「身だしなみ」や、入退室の動きや座り方、お辞儀の仕方や視線の向け方、表情などの「態度」、声の大きさや言葉遣い、質問に正対して答えていているか、会話のキャッチボールができているかという「コミュニケーション能力」、志望動機や自己PRがきちんとまとめられ、吟味されているかという「話の内容」は大きな観点ですので、しっかりととした準備が必要です。中でも普段の生活の様子が色濃く出てしまう「態度」は、一朝一夕でできるものではありません。日頃から意識して一つ一つの礼儀作法を確認しながら丁寧に行い、まさに身に付けていく必要があります。



しかし、私が面接官として一番注目するところは、別にあります。

それは、「この生徒は、この高校で3年間しっかりと頑張れるのかどうか」という点です。

皆さんにとって面接は入試に合格するための一つの試練と捉えていると思いますが、高校の面接官としては、この受験生が本校で充実した3年間を送れるのかどうかを知りたいわけです。果たして高校生活に順応できるのか、高校で何にチャレンジし、頑張ろうとしているのかを、短い時間ですが見定める機会になるわけです。中学校で頑張ってきたことがある人は、それは大きな財産ですから、引き続き高校でも頑張りたいと伝えていいでしょう。逆に中学校ではあまり頑張れなかった人、不本意な学校生活を送ったという人も、その経験を踏まえて、高校では心機一転頑張りたいという意志を見せることが大事です。



皆さん自身が進学先として選んだ高校のため、高校に入って何を頑張りたいのかを聞かれたときには、待っていましたとばかりに、自分のやりたいこと（目標）を、目を輝かせて答えられるようにしておいて欲しいのです。願わくは、自分の将来の夢の

実現に向けて、高校を卒業した後のビジョンまで語れるといいのですが、今の時点で将来像を具体的に描けている人はそう多くはないでしょう。ですから、自分の将来の夢はこの高校の3年間で見付けることを申し添えた上で、事前に十分にその高校のことを調べ、特色や教育方針なども意識しながら、自分のやりたいことを、自分の言葉で、より具体的に、そして相手の目をしっかりと見て話すことで、前向きな気持ちや姿勢が伝わります。面接官に「この生徒は、うちの高校にぜひ来てもらいたい」と思わせたらしめたものです。少なくとも、高校のことは高校に入ってから決める、のでは遅いのです。

ちなみに「令和8年度 東京都立高等学校入学者選抜 『本校の期待する生徒の姿』」でも、より高い目標を設定し努力する生徒を高校側が求めていることが分かります(近隣の高校の『本校の期待する生徒の姿』の一部を紹介します)。

- ・日々の学習活動において努力を重ね、四年制大学への進学に向け、高い目標を掲げて努力する生徒(江戸川高校)
- ・学習面では、成績優良を目指し、苦手な教科があってもあきらめずに努力するなど、真剣な態度で主体的に学習活動に取り組む生徒」(葛西南高校)
- ・部活動に入部し、3年間継続して活動して、技術・能力を高めたり、人間関係を深めたりすること等に積極的な生徒(小岩高校)
- ・生徒会役員やクラスリーダーとなり、体育祭・文化祭・合唱祭等学校行事を更に充実させるために活動する生徒(小岩高校)
- ・文化・芸術・スポーツ活動等の分野で優れた能力を有し、入学後もより高い目標に向かって継続して取り組む生徒(篠崎高校)
- ・大学進学への目的意識をしっかりと、高い志望を掲げて努力する生徒(紅葉川高校)
- ・国語・数学・英語・社会・理科の基礎学力があり、更に深く学ぼうとする生徒(紅葉川高校)
- ・資格取得・検定試験にチャレンジする生徒(葛西工科高校)

面接なんて初めての人が多いですから、緊張もするでしょう。いくら練習をしても本番ではつかえたり、しどろもどろになったり、言いたいことの半分も言えない状況になるかもしれません。でも少なくとも「私はこの高校に入ってこんなことを頑張りたいんです。」という熱意が面接官に伝われば、面接は八割がた成功です。もちろん面接が上手くいったからといって合格するとは限りません。でも「志望校に入ること」ではなく、「入って何を頑張るのか」を考える視点は大事だと思いませんか。

これは将来皆さんが出世を選擇する際に大事な考え方です。プロ野球選手になること、建築家になること、パティシエになること、美容師になること、それがゴールなのではなくて、プロ野球選手になり、建築家になり、パティシエになり、美容師になって、そこから先にいったい何をするかが大事なのです。面接官は、皆さんの「その先」を見ています。

あなたの夢は何か、あなたが目的とするものは何か、

それさえしっかりと持っているならば、必ずや道は開かれるだろう。

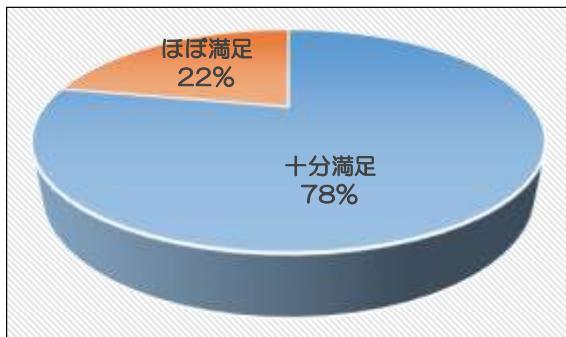
マハトマ・ガンジー(インドの弁護士、宗教家、政治指導者 / 1869~1948)



令和7年度文化祭 保護者アンケートより

【回答数 73 (1年21, 2年27, 3年24, 来賓・地域1) tectoru 及びQRコードによるアンケート】

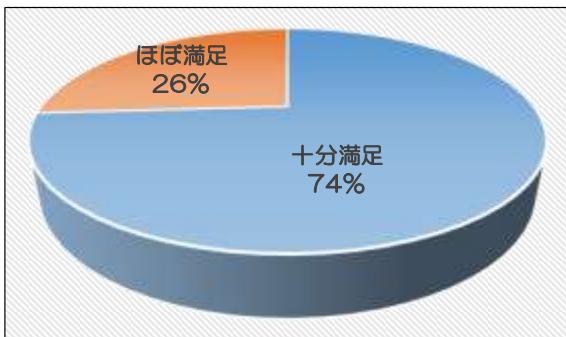
会場の様子や学校の対応はいかがだったか



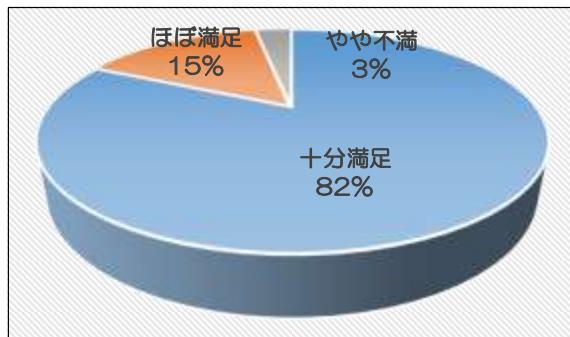
規律ある態度や自主性の発揮が見られたか



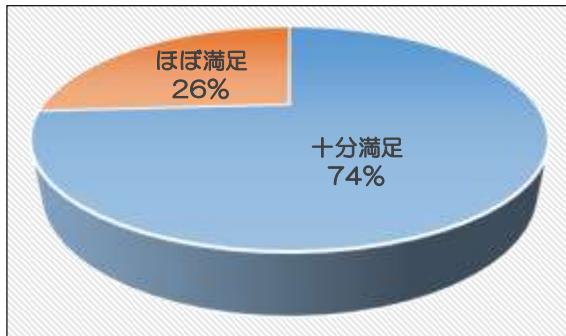
展示発表を通して、生徒の活動の成果が見られたか



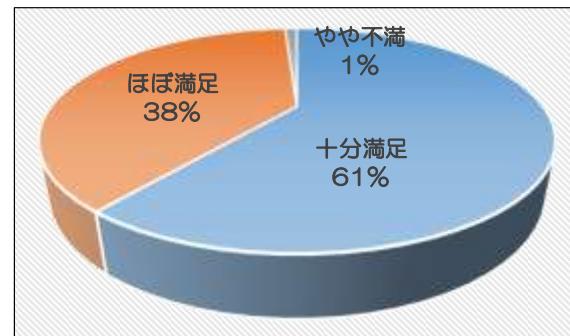
変更1：色別フォルダによる体育館へのご案内



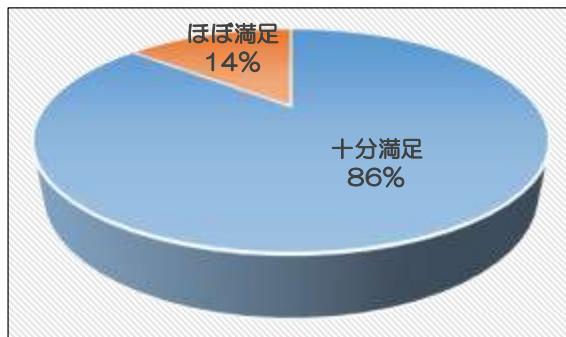
当該学年・団体以外の参観を可能にした



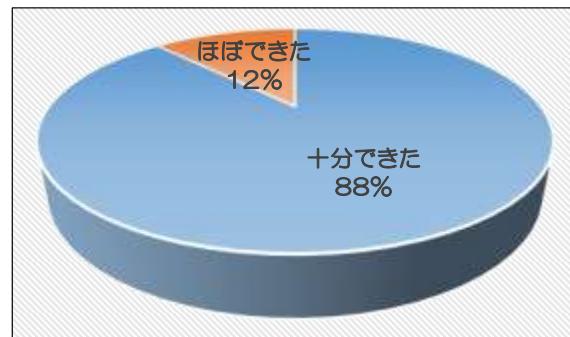
業者による舞台発表の同時配信・DVD等の販売



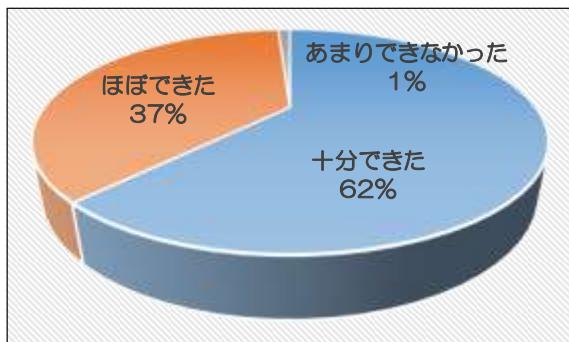
全体として今回の文化祭はいかがだったか



見学のマナーを守り合唱等を観覧していただけたか



お子様と文化祭のことについて話し合いが出来た



○個々の個性が溢れていて、どの作品も素晴らしいかったです。合唱コンで、それぞれのクラスが真剣に取り組んでいるのも良かったです。最後の吹奏楽部には多くの曲目で楽しませてもらいました。アーカイブ配信で何度も見れるのも嬉しいです。(1年)

○どのクラスも去年よりクラスのまとまりや声が出ていて上手でした。指揮も伴奏も素敵でした。今年は念願の吹奏楽部の演奏が生で見れて嬉しかったです。凄く楽しかった！もっと大きな舞台で見たいです！来年も楽しみにしてます！先生、生徒の皆様お疲れ様でした！(2年)

○全学年の合唱を見る事ができて良かったです。学年が上がるごとに上手になっていくので成長を感じました。2年生の川柳、中学生らしさがよくでているなと思いました。また来年も楽しみにしています。(2年)

○先生方が生徒たちのために動いていただいているのがとても感じることのできる文化祭でした。ありがとうございました。(2年)

○毎年思いますが、どのクラスの子供達も一生懸命に歌う姿に心を打たれます。(3年)

○他学年も見学可能とのことでしたので自分の子ども(2年)以外の合唱も観させていただきました。1年生の初初しさあふれる合唱、2年生の静かなる競争心、3年生の始まる前から意気込み溢れる円陣の掛け声、そして発表後の吹奏楽部演奏での、リラックスして思い切り楽しんでいる姿。それぞれの学年によってこんなにも合唱に対する気持ちの表れが違うものなのか、と見ていてとても面白く大変感動いたしました。展示物も大変工夫されているものが多く、もっとゆっくりじっくり見たかったと思うほど時間が足りませんでした。先生方と子どもたちの関わりがとてもよく見え、松六って良い学校だなあと嬉しくなりました。ありがとうございました。(2年)

○素晴らしい文化祭でした。特に合唱コンクールでは、気持ちのこもった歌声、取り組む姿勢に心から感動しました。成長した姿、素敵なかつを観せていただき本当にありがとうございます。

(3年)

○本番当日までにかけた練習時間や沢山の準備など、先生方はとても大変だったかと思いますが、そのお陰で子ども達の素晴らしい歌声や展示を十分に楽しく鑑賞する事が出来た事をありがとうございます。(1年)



- DVD販売値段がもう少し安いと有り難いです。(1年)
- 並んでいる時の保護者の話し声がうるさく、発表中の生徒たち等の邪魔にならないのかと心配だった。定期的に先生方から静かに待機してもらえるように、声を掛けて対応すべきなのではと思った。(3年)
- 文化祭は大変満足したが、受付時に係の人と前に並んでた人達が机の前で長い時間お喋りをしていて、ずれていただけるわけでもなく無駄に待たされたことが残念でした。(1年)
- 1年生の保護者が入場待ちで並んでいる際に2年の保護者はどこで待機していればよいか確認したところ1年待機列の最後に並ぶように言われた為1年の待機列の後方に並び体育館入り口付近まで付いていったところ、1年待機列とは別に並んでいる2年保護者がいた。他学年に別に待機列があるなら予め言って欲しかった。3年の合唱を見る為に体育館入り口により、3年の待機列が入り終わり特に入れる保護者もいなかった為入ったところ今は3年保護者を案内しているから待つように言われた為退出した。しかし他の教員が体育館入り口付近で出会った卒業生らしき数人と話しながら体育館へ入っていった。私たちにまだ待っているように言った教員も戸惑っているようだったがその教員に声を掛けることもなかった。案内する係なのであればそこはまだですよと声を掛けるべきではないかと感じた。カードで分かりやすくしたのはいいと思うが、保護者又は来場者への案内は統一して欲しい。(2年)
- 展示を見る時間が短いと感じました。(3年)



令和7年度文化祭・合唱コンクール結果（敬称略）

学年	最優秀賞	最優秀指揮者賞	最優秀伴奏者賞
1年	2組	(1組)	(2組)
2年	1組	(1組)	(3組)
3年	2組	(1組)	(3組)



文化祭でのひとこま



吹奏楽部演奏



閉会式 表彰



閉会式 副実行委員長挨拶

展示見学風景





令和7年度文化祭には、ご多用の中、434名の保護者・地域の方が来校し、生徒たちの舞台発表と展示作品をご覧いただきました。皆様方からの温かい拍手や声掛けが、生徒たちの大きな励みになったと思います。本当にありがとうございました。

寄せられたアンケートを参考にしながら、工夫・改善をし、次年度以降も更に良い文化祭となるように松江六中教職員一同精一杯努めてまいります。引き続きご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。

P T A本部・委員会の皆様におかれましては、受付や展示会場のパトロール等大変お世話になりました。心より御礼申し上げます。



江戸川区弁論発表会 11／1（土）江戸川区総合文化センター



各校から選りすぐられた弁論に優劣をつけることは難しいということで、今年度より、「大会」から「発表会」と名称が変わりました。審査は行われなくなりましたが、昨年度までと同様、区内中学校32校を午前・午後に分け、それぞれの学校の代表弁士による弁論が発表されました。

本校代表の3年生、君は、午前の部の5番目の発表でした。一度も原稿に視線を落とすことなく、会場を見渡すように観客に視線を向けながら、堂々と話している姿が印象的でした。声のトーンを上手く変化させ、抑揚もつけながら、文

化祭で披露した「灰色」をさらにグレードアップした弁論を披露しました。あの後もたくさんの練習を積み重ねたに違いありません。その成果が十分に表れていました。



他の 15 校の弁論も目の付け所が斬新でオリジナリティーに富み、説得力があつて素晴らしいものでした。特別出演として、小松川中学校の夜間学級に通う生徒と、愛国高等学校 3 年の生徒の弁論も披露されました。各校の弁士にとっても、観客席の私たちにもまた多くの気付きと学びを得ることのできた貴重な機会となりました。

愛国高校第 87 回創立記念祭「招待リレー」 11/3 (月)

貴重な晴れ間となった文化の日、第 87 回愛国高校創立記念祭が行われました。その中の招待校リレーに松江六中女子陸上部が今年度も参加しました。昨年は雨で一日順延されたため、大会と重なった関係で予定より少なかったのですが、今年は区内だけではなく、足立区や荒川区、船橋市や白井市からの参加があり、16 校 24 チームがエントリーしました。

1 周 140m と距離がかなり短い愛国高校のトラックは、本校の 200m トラックと比べると直線が短く、すぐにコーナーに差し掛かります。スタートダッシュでの最初の位置取りが大きく影響するので、どちらかと言えば、逃げ切りではなく、追い込み・差しを得意とする松六生徒にとって難しいリレー運びとなるのは予想されていました。松六の土のグランウンドとは違い全天候型であることも影響したかもしれません。今回も善戦をしたのですが力及ばず、残念ながら両チームとも決勝進出はありませんでした。第 77 回大会から、優勝は江戸川区の学校で、小岩三中と二之江中が独占しています。松江六中がそこに食い込めるのはいつになるのか。チャレンジは続きます。また来年も声援を送りたいと思います。3 年生女子はこの大会をもって引退となります。お疲れ様でした。敗れはしましたが、美味しい昼食とたくさんの参加賞をいただき、生徒たちは大喜びでした。

A チーム	(2-1)	(3-2)
	(3-2)	(3-2)
	補	(1-1)
B チーム	(1-1)	(1-2)
	(1-3)	(1-3)
	補	(1-3)



デフバレーボール観戦（1年生） 11/20 (木) 駒沢オリンピック公園体育館

1 年生は早めに昼食を済ませ、午後 1 時 5 分にはバスに分乗し、会場に向かいました。ちなみにこの日は家から弁当を持ってくることになっていましたが、誰一人忘れてくる生徒はいませんでした。保護者の皆様、ご準備をありがとうございました。

前の試合が伸びたことと、観客の入れ替え等があつてしばらく待機しましたが、午後 2 時 45 分頃には誘導されて体育館の座席に座り、イタリアとブルガリアの男子チームの試合前の練習から見ることが

できました。会場には我々以外にも多くの学校の生徒がいましたが、様々な国の方々が応援に来ていました。選手たちは対人スパイクやレシーブも耳が聞こえないことを一切感じさせない鋭い動きでした。



午後3時、コールされた選手が促されてチームのメンバーとハイタッチをしてコートに入ります。その後一列に並び、それぞれの国の国歌が流れました。私たちも起立してその様子を見守りました。選手たちが国歌を手話で表現していたのが印象的でした。いよいよ試合が始まります。ボールを打ったり弾いたりする「音」が聞こえないのですから、視覚で動くことになります。聴覚ではない他の感覚を研ぎ澄まし、その瞬間、瞬間での判断力や瞬発力を磨いてきたのだろうと思います。セッターが上げるトスも多様で、長いラリーの中でクイックや平行、バックトスなどにアッカーガがよく対応しているなど感じました。このコンビネーションは日頃からの弛まない練習と、瞬時に交わし合うアイコンタクトのなせる業なのでしょう。持てる能力を最大限に伸ばし、活用しようとする姿に改めて感動しました。ポイントが決まっても決められても選手たちが集まって肩をたたいたり、手話で言葉を交わしたりしながらコミュニケーションをとっており、チームワークも素晴らしいと感じました。

生徒たちはそれぞれが手書きで準備してきた応援ボードを掲げたり、両手を頭の横でひらひらさせる「拍手」をしたりしながら選手たちを応援しました。実際に会場を訪れ、選手や応援の方々、そして大会運営の方々の様子を直接見られたことで、ほんの少しではあるけれどデフリンピックに実際に参加できたことは大きな経験になったと思います。

残念ながら2セット目の途中で時間となり、午後4時頃に会場を後にしました。隣のコートでは女子のブラジル対トルコの試合をしていましたが、その前の試合で日本がアメリカにストレートで勝ったと表示されていました。(ちなみに11月25日の決勝戦で日本女子バレー ボールチームは見事金メダルに輝きました。)

この企画は「笑顔と学びの体験活動プロジェクト」の一環で行われる都の事業で、すべて公費で賄われました。良い機会を与えてください、感謝しています。



校内研修会 11/26(水) 防災教育と避難訓練について

講師に慶應義塾大学 環境情報学部准教授の大木 聖子先生を迎えて、防災についての教員研修を行いました。まずは1995年の阪神淡路大震災や、2011年の東日本大震災、2016年の熊本地震、2024年の能登半島地震の映像を改めて見て、震度7の揺れに人は立っていられないことや、その後にはほぼ間違いなく停電が発生すること、携帯電話が使えないこと等を確認しました。阪神淡路大震災以降の耐震基準で建てられたり、耐震補強を施したりした学校は震度7の地震でも、倒壊することは無いという事実を知りました。ただし、オーバーブ



リッジや照明器具、窓ガラス、バスケットのゴールなどの「非構造部材」は落下する可能性が高いそうです。これにより、余震が続く中で校舎の外に避難をすることの方がリスクが高いということも分かりました。また、朝の生徒しかいない中で震度7級の大きな地震が発生した場合に、考えられる状況を学年ごとに予想をし、全体で共有しました。パニックになって泣き出したり、腰を抜かして立てなくなったり、集団で過呼吸になったりするケースもあるようです。本部となる職員室に各教室からの生徒のケガ等の情報を、状態によって色分けしてスムーズに伝える方法もとても参考になりました。



後半は実際に朝の学級活動時に大きな地震が起きたと想定して、余震が頻繁に起こる中での生徒のケガの状況を本部に連絡したり、寄せられた情報を頼りに本部が指示をして担架で救護に行ったり、救急車を要請したりしました。実際にやってみると、うまくいかないことがたくさんありましたが、改善の方法や対処法の具体策が見えてきます。本校の校舎の構造や、教職員の限られた人数で、今後どうしていけばいいのか、たくさんのヒントを得ました。30年以内に70%の確率で首都直下型地震が発生すると言われています。もちろん起きないことが一番ですが、生徒も教員も毎年代わっていく学校は、毎月の訓練をより実践的で意義あるものにして、しっかりと備えていくことの大切さを改めて感じました。

給食試食会 11/27 (木)

今回もPTA学年成人委員さんに様々な準備をしていただき、この日、令和7年度の給食試食会を開催することができました。今年度は15名の保護者の方が参加し、この日の生徒と同じメニューを試食しました。この会を楽しみにしておられる方も多く、半数ほどが以前にも参加されたことがあるとのことでした。食事と並行して本校の栄養士の森岡から、資料とともに松江六中の給食について詳しく説明をさせていただきました。

お一人ずつ感想をいただきましたが、「この値段で彩りも良く、食材も豊富で有難い」「家では子どもが好きなメニューに偏ってしまうが、給食では普段食べないものもバランスよく食べられるので有難い」「学校の献立表を上の子の弁当作りの参考にしている」「鰯の甘辛揚げは家でも作れそうなので挑戦してみたい」「好き嫌いの多いうちの子に声を掛けさせていただき感謝している」「うちの子



は毎日献立表を確認して給食を楽しみに登校し、誰よりもよく食べている」「家の味付けが濃く塩分を過剰に摂っていることに気付いた」といった声が聞かれました。今年度から松江地区の栄養士が共同でレシピを考え、小中で同じメニューを提供することもあり、『小松菜ドーナツ』が美味しく兄弟で話題になったというお話も聞かれました。引き続き本校の「食」を通じての教育活動にご理解とご協力をよろしくお願ひします。

11/27 (木) の献立	
*ごはん	*エコふりかけ
*鰯の甘辛揚げ	
*きつね和え	
*豆乳豚汁	
*牛乳	*りんご

エネルギー (kcal)	768
たんぱく質 (g)	36.1
カルシウム (mg)	393
鉄 (mg)	3.9
塩分 (g)	2.7

1食約385円で提供しています。

チャレンジ・ザ・ドリーム（2年生）実施中 11/25（火）～12/1（月）

35箇所の事業所にお世話になりました。

学年の教員が分担し、生徒の体験の様子を見に行って
います。この様子については、次の学校だより
(第9号・1/9発行予定)で詳しくお伝えします。



12月の行事予定

日	曜	行事予定	給食	日	曜	行事予定	給食
12/1	月	チャレンジ・ザ・ドリーム終(2)	13	22	月	朝礼 安全指導	○
2	火	三者面談始	○	23	火		○
3	水	歯科指導（1）	○	24	水	大掃除 給食終	○
4	木	区学力調査（1・2）	○	25	木	終業式	×
5	金		○	26	金	冬季休業日始	
6	土			27	土		
7	日			28	日		
8	月	朝礼	○	29	月	閉学日始	
9	火	三者面談終	○	30	火		
10	水		○	31	水		
11	木	専門委・中央委	○	1/1	木		
12	金	避難訓練	○	2	金		
13	土			3	土	閉学日終	
14	日			4	日		
15	月	生徒会朝礼	○	5	月		
16	火		○	6	火		
17	水		○	7	水	冬季休業日終	
18	木		○	8	木	始業式 数学コンテスト	×
19	金	道徳授業地区公開講座 学校公開	○	9	金	給食始 避難訓練	○
20	土			10	土		
21	日			11	日		